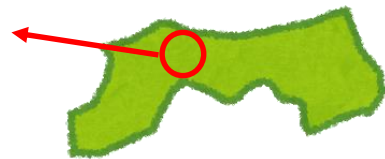


## 取組の概要

計画作成主体：大山町農業再生協議会  
 対象品目：露地野菜（ブロッコリー）  
 （産地面積 449.3ha）  
 主な取組主体：農業者等  
 成果目標：販売額の10%以上の増加  
 基準（H28年度）232千円/10a  
 目標（R4年度）265千円/10a  
 導入施設等：生産支援事業  
 （パイプ、被覆資材等、農業機械のリース導入）

鳥取県西伯郡大山町



## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

大山町の特産物である大山ブロッコリーについては、品質重視の栽培管理、出荷を厳守しており、品質低下の少ない早朝に収穫している。計画的に収穫しているが、すべてを適期収穫できず、多くの収穫ロスが発生している。また、ピーク時には連続しての深夜収穫となっている。深夜に作業用のヘッドライトを装着しての収穫作業は重労働であり、収穫忘れも発生しており、日中の収穫作業への作業時間帯改革（働き方改善）が急務となっている。また、産地拡大には、育苗のためのハウスを導入する必要があるが、近年は資材価格の高騰が導入のネックとなっている。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

ブロッコリー産地の形成の推進  
 青果物保冷用の冷蔵庫を導入することにより、早朝・深夜の作業体系を日中に見直して雇用環境の改善を図り、適期収穫、深夜作業による収穫ロスを最小限に抑え単位面積当たりの収穫量を向上する。また、育苗に必要な鳥取型低コストハウスを導入することにより、規模拡大を図ることによって、担い手農家の更なる経営発展につなげる。

## 推進体制

・鳥取県(西部農林局等)  
 ・大山町  
 ・鳥取西部農業協同組合

大山町農業再生協議会  
 ①計画の策定・管理  
 ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)  
 ・行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

農業者等  
 ①取組計画の作成  
 ②取組実施等

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・県・町単独事業：排水対策機械導入、排水対策実証等の支援、スプリンクラーかん水支援を実施
- ・鳥取西部農業協同組合：栽培技術指導、集出荷・販売体制の強化

## 期待される事業効果

### 【事業実施による直接効果】

保冷用冷蔵庫を導入することで、収穫作業時間帯を改善し、日中の収穫作業とすることで、作業効率の向上と収穫ロスを減少させる。さらに、育苗に必要な鳥取型低コストハウスを導入することで、規模拡大を図る。

### 【事業実施による間接効果】

作業時間帯が日中となることから新たな労働力確保が可能となり、1経営体の規模拡大に繋がる。また、保冷用冷蔵庫の導入によりコールドチェーンの強化、適期収穫と秀品率の向上、品質の鮮度保持等を図り、単位面積当たりの収入額を増加し、農家所得向上を図る。加えて、育苗に必要な鳥取型低コストハウスを導入することで、規模拡大を図ることによって、担い手農家の更なる経営発展につなげる。

**販売額が増加**

～ブロッコリーの10a当たり販売額～

